

「改正博物館法施行間近！ ～現場の視点で改正法のポイントを考える～」

フォーラム開催のお知らせ

令和4年4月に交付された改正博物館法がいよいよ4月から施行されます。

これまでの社会教育機関としての位置付けに加え、文化芸術基本法の下に地域の文化施設としての役割も期待される今後の博物館の在り方を見据え、現場の博物館運営はどのように変わるのか、また、どのように変わっていくべきなのかを考えるべき重要な画期と言えます。

このフォーラムでは、改めて改正博物館法の概要、改正のポイントを理解し共有するとともに、文化審議会博物館部会の答申等を踏まえ、今回の法改正を機に、今後、博物館が基本的機能の充実とともに、求められる役割をより積極的に果たし、活動の充実を図るために、博物館運営に求められる取組みや今後の展望について、現場の視点からの発表を中心に議論を深めたいと思います。

博物館の職員をはじめ、広く関係者やご興味ある皆様のご参加をお待ちしております。

■主催：公益財団法人日本博物館協会

■開催日時：令和5年3月4日(土) 13:30～17:15

■開催形式：オンライン (Zoom)

- ・事前申込み：下記 URL の申込みフォームから登録してください。

<https://forms.gle/MWFFAj9haCkzgMjj7>

※申込期限は、3月3日(金)17時です。

※後日 Zoom の URL 等をお知らせします。

- ・開催後、オンデマンド配信を予定しています。

■プログラム

- 開催挨拶 山梨絵美子 (日本博物館協会会長)
- 趣旨説明 半田 昌之 (日本博物館協会専務理事)
- 基調報告：博物館現場から読み解く改正法の概要とポイント (20分)
栗原 祐司 (京都国立博物館副館長)
- 発表 法改正と博物館運営の今後 (各 15分)
 1. 地域の公立博物館の今後 可児 光生 (美濃加茂市民ミュージアム館長)
 2. 博物館の連携・ネットワーク 佐久間大輔 (大阪市立自然史博物館学芸課長)
(休憩)
 3. 水族館等多様な館種と博物館法 錦織 一臣 (葛西臨海水族園園長)
 4. 博物館情報のデジタル化・アーカイブ 川口 雅子 (国立アトリサーチセンター(仮称)
設立準備室情報資料グループリーダー)
 5. 「いとなむ」と「活かす/生きる」 柳沢 秀行 (大原美術館学芸総括)
(持続的経営) (地域の多様な主体との連携)
(休憩)

➤ 質疑・討論（60分）

基調報告者・発表者

モデレーター 佐々木秀彦（アーツカウンシル東京企画部企画課長）

【お問合せ先】

日本博物館協会（担当 澤井）

TEL；03-5832-9108

e-mail：museum-act@j-muse.or.jp